

第10回全国高校7人制ラグビー大会 結果報告

昨日の菅平高原

うちのミニラグビースクールの選手が体調が悪く日陰で休んでたところ

全国高校セブンス大会に出場していた大分東明高校の選手達がそれを見かけて氷を差し出してくれました。

気づきを行動できる。

そんな選手達に出会えてとても嬉しかったです。

おかげ様でうちの選手も無事に体調が戻りました。

7月15(土)~17(月)に行われた第10回全国高校7人制ラグビー大会に、大分県代表で出場した本校ラグビー部が、**プレトーナメント3位(予選リーグ2位のグループで3位)**という成績を残した。

今大会は、全国高等学校ラグビーフットボール大会(年末年始に花園で開催)、全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会(3月開催)、合同チーム日本一を競うKOBELCO CUP(7月末)と並ぶ、高校ラグビーの全国大会で、長野県上田市の菅平高原を舞台に「セブンス」の高校日本一を目指し、全国から錚々たる代表校が熱戦を繰り広げた。

そんな白熱の戦いの直後、ある他団体の指導者より、左のようなメッセージが届いた。「強さ」だけではなく、「気遣い」も光るようになったということは、一流のチームに成長した証と言えよう。

今年も花園への期待が集まる東明ラグビー。「強くて優しいチーム」として、「Enjoy!ラグビー!」してほしい。

